

小澤真智子～旅するヴァイオリン～

ニューヨーク便り vol.6

2019年 冬

今冬のニューヨーク、ウームなんか暖かくて
この、キーンとくるほどに寒くならないなー
なんて、クリスマスの頃思っていました。

例年、1月2月は一番冷える時期。雪もよく降る時期です。
むか～し昔、リンカーンセンターのマーキンコンサートホールで
忘れもしない、スーパーボウルサンデー（毎年、2月の初めの日曜です）
にリサイタルをした時があり、その日の気温がなんと冷えて冷えて
15度（華氏）＝マイナス10度くらい（摂氏）だったことがありました。
コンサートを終えて帰るときに、タクシーに飛び乗るだけでも
凍えた覚えがあります。

今年は、年末年始を久々に日本で過ごし、年明けにニューヨークに
戻るも、「あれれ？日本と同じくらい？」
「おかしいな」と思っていたら

来ました来ました

大寒波。

前日から、ニュースでは寒くなるから気をつける、と大騒ぎ。
日没から、どんどんと気温が落ち始め夜の間に
とうとうマイナス14度（摂氏）にまで落ちました。

21年のニューヨーク生活、これほどの気温の低下を
経験したことがないわけではありませんが、
そうそうあるわけでもないんです。

ニューヨークの気温は華氏（Fahrenheit）で表示されます。
日本の気温は摂氏（Celsius）で表示されるので、ちょっと慣れるまで
ピンと来ません。

華氏32度が摂氏0度になります。ということで、30度代はかなり寒いです。
40度代も寒いです。気を抜いて薄着で出かけるとお腹が痛くなります。
50度代になれば、寒くはないです。

ニューヨークの大家さんは、50度を切ったら暖房を入れなくては
いけないルールになっています。

そして

20度代は、とても寒いです。

私の場合、32度（0度）を切ると、重ね着とホカロンが必須です。

ということで、10度代は、もうかなりきついです。

シングルディグリー（10度以下）はもう外に出るのはお勧めできません。

それでも出かけるときは、

耳あては必須。ないと耳がちぎれます。

そして、顔がヒリヒリ、目もヒリヒリと開けていられないほどです。



とにかく、顔がイタイのです。

髪の薄い人は、おそらく帽子がないとイタイと思います。

(私は髪が多いので、頭というより耳をカバーします)

21年前、ニューヨーク一年目のニューイヤーズ・イブ。

やはり、あのタイムスクエアのカウントダウンに行きたくて

友達と現地に午後6時入り、6時間待ってカウントダウンをしたのですが

その年の気温がなんと華氏15度(摂氏マイナス10度)まで落ち、

私は、体の芯の芯の芯まで凍りました。

若かったな～

それ以来は、もう2度とカウントダウンに行こうと思ったことはないです。。。。

お家で、ぬくぬく暖まりながら「NY1」でカウントダウンのライブを見るのが一番です。

さて、今年の大寒波。

あいにく、私は、ティーチングそしてその後は、ストリング・カルテットの

リハーサルがあり、お出かけ日。

どうやって凌いだかと言いますと、

これだけ着ました！



レギンス3枚重ね

(うち、2枚はダブル暖かヒートテク)

ヒートテク シャツ3枚重ね

(うち一枚はダブル暖かヒートテクタートルネック)

ウールスカート

カシミアのカーディガン

ユニクロフリース

カナダ製の分厚いダウンコート

レッグウォーマー

UGGブーツ

分厚い手袋

ウールヘアバンド

耳あて

カシミアマフラー

ホカロン(2枚)

大寒波の後は、気温が上がり、今日はなんと摂氏8度。

ハワイにいる気分です！

しかし、まだ1月も半ば。本当の大寒波、そして大雪がくるのは

これからかもしれません。

厚着で頑張るぞ！！

小澤真智子

in

NEW YORK

1/24/2019